

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	スエバーシールK-1
会社	大日化成株式会社 岡山工場
住所	〒709-4312 岡山県勝田郡勝央町黒土115-1
担当部門	技術部 担当者 甲本 周平
電話番号	0868-38-5151
FAX番号	0868-38-3745
電子メールアドレス	dkm306@dainichikasei.co.jp
作成・改訂	2015年 12月 4日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

記載のないものについては、区分外、分類対象外、または分類できない。

[物理化学的危険性]

[健康に対する有害性]

皮膚腐食性・刺激性	区分2	眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	区分1	発がん性	区分2
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分1	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1

[環境に対する有害性]

GHSラベル要素

[絵表示又はシンボル]



[注意喚起語]

危険

[危険有害性情報]

吸入すると有害のおそれ

重篤な眼の損傷

吸引するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ

皮膚刺激

発がんのおそれの疑い

単回暴露により臓器の障害

長期または反復暴露により臓器の障害

[注意書き]

予防策

使用前に取り扱い説明書を入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。

粉塵、ヒュームを吸入しないこと。

この製品を取り扱う際は飲食、喫煙をしないこと。

取り扱い時には、安全眼鏡、不浸透性手袋を着用すること。

取り扱い終了後は、手洗い、うがい、眼の洗浄をすること。

落下や、他の器物に当てるなど容器を損傷させないようにすること。

対応

飲み込んだ場合は、無理に吐かせずに口をすすがせ、直ちに医師の手当てを受けること。

吸入した場合は空気の新鮮な場所に移して休息させ、医師の手当てを受けること。

眼に入った場合は水で数分間洗い、コンタクトレンズを着用している場合は可能ならば外して洗浄すること。刺激が続く場合は医師の手当てを受けること。

皮膚(または髪)に付着した場合は、流水/シャワーと石鹼でよく洗い、直ちに医師の手当てを受けること。

保管

容器を密閉して、冷暗所に施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を廃棄する場合には、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。

使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物質

化学名または一般名 ウレタンポリマーを主成分とする混合物

成分名	含有量(%)	官報公示整理番号 (化審法)	CAS No.
ウレタンポリマー	約59.0	非公開/未登録	非公開/未登録
無機質充填材	約36.9	非公開/未登録	非公開/未登録
酸化カルシウム	約 1.8	(1)-189	1305-78-8
酸化チタン (IV)	約 1.8	(1)-558	13463-67-7
カーボンブラック	約 0.5	—	1333-86-4

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける

皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗う。

直ちに医師に連絡する。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受ける。

吸入した場合：呼吸が困難な場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。

呼吸症状が出た場合は、医師に連絡する。

飲み込んだ場合：口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤：粉末、炭酸ガス、泡。

消火を行う者の保護：防火服/防災服/耐火服を着用する。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：皮膚に触れたり眼に入らないように、不浸透性手袋などの保護具を着用する。

保護具及び緊急措置：作業の際には保護具を着用し、飛沫などが皮膚に付着したり蒸気を吸入しないようにする。

環境に対する注意事項：環境への影響を起こさないよう、河川などに排出しない。

二次災害の防止策：漏出物を回収する。

封じ込め及び浄化の方法：少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合は、何よりも拡散の防止をはかる。出来るだけ液体を容器に回収する。回収できなかったものに対しては、少量漏出時の措置をとる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策：（取扱者の暴露防止）粉じん/ヒューム/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。

指定された個人用保護具を使用する。

安全取扱い注意事項：使用前に使用説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

保護手袋を着用する。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

接触回避：「10. 安定性及び化学的性質」を参照。

保管

保管条件：施錠して保管すること。

直射日光を避け容器を密閉し5から35℃で保管する。

容器包装材料：包装、容器の規制はないが密閉式の破損のないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

データなし

許容濃度

[酸化カルシウム]

ACGIH(1990)TWA:2mg/m³ (上気道刺激)

[酸化チタン(IV)]

ACGIH(1992) TWA:10mg/m³ (下気道刺激)

[カーボンブラック]

ACGIH(1985) TWA:3.5mg/m³

保護具

- 手の保護具 : 必要に応じて適切な保護手袋を使用すること。
- 目の保護具 : 必要に応じて個人用の目の保護具を使用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 必要に応じて適切な保護衣、保護面を使用すること。

衛生対策

- : 取り扱い後はよく手を洗うこと。
- この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

- 外観 : 灰色ペースト
- 比重 : 1.25
- 引火点 : 120℃以上
- 溶解性 : 水に不溶 (水と反応)

10. 安定性及び化学的性質

- 安定性 : 通常の条件下では安定。
- 危険有害反応可能性 : 特記すべき反応性なし。
- 避けるべき条件 : 水との接触
- 混触危険物質 : アミン、水、アルコールと反応する。
- 危険有害な分解生成物 : 燃焼により有毒なガスが生成する。

11. 有害性情報

急性毒性

経口毒性成分データ

[酸化カルシウム] : 経口 マウス LD50 3,059 mg/kg(RTECS(2004))

局所効果

皮膚腐食性/刺激性成分データ

[酸化チタン(IV)] : ヒト 0.3mg/3D-I ; MILD

[無機質充填材] : ラビット 500mg/24H ; MODERATE

眼に対する重篤な損傷・刺激性

眼損傷性/刺激性成分データ

[無機質充填材] : ラビット 0.75mg/24H ; SEVERE

発がん性

[カーボンブラック] : IARC-Gr.2B ; ヒトに対して発がん性があるかもしれない。

[酸化チタン(IV)] : IARC-Gr.2B ; ヒトに対して発がん性があるかもしれない。

[カーボンブラック] : ACGIH-A4(1985) ; ヒト発がん性因子として分類できない。

[酸化チタン(IV)] : ACGIH-A4(1992) ; ヒト発がん性因子として分類できない。

[カーボンブラック] : 日本産衛学会-2B ; 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分ではない物質

短期暴露による即時影響、長期暴露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性 (単回暴露区分1)

[酸化カルシウム] : 呼吸器系

特定標的臓器毒性 (単回暴露区分2)

[酸化カルシウム] : 全身毒性、消化器

特定標的臓器毒性 (反復暴露区分1)

[酸化カルシウム] : 呼吸器系

[酸化チタン] : 肺 ; 吸入

1 2. 環境影響情報

水生毒性

[酸化カルシウム] : 魚類(コイ)LC50=1070mg/L/96hr (IUCLID,2000)

[酸化チタン(IV)] : 甲殻類(オオミジンコ)LC50=1000mg/L/48hr (AQUIRE,2003)

[カーボンブラック] : 甲殻類(オオミジンコ)LC50=5600mg/L/24hr (AQUIRE,2000)

水溶解度

[酸化カルシウム] : 1.2g/L(HSDB,2004)

[酸化チタン(IV)] : 溶けない(HSDB,2004)

[無機質充填材] : 溶けない(ICSC,1999)

[カーボンブラック] : 溶けない(ICSC,1995)

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

: 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の分類では、産業廃棄物の廃油と廃プラスチック類の混合物で、その処理については認可を受けた専門の処理業者に委託する。使い切った後の容器は、接着剤が乾燥固化していれば、産業廃棄物の金属くずと廃プラスチック類の混合物になる。

1 4. 輸送上の注意

国連分類

: 国連番号に該当しない。

国内規制 : 特段の規制はない。

海洋汚染防止法 : 有害液体物質(Z類)：酸化チタン(IV)；無機質充填材

輸送の特定の安全対策及び条件：

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように取扱い、荷崩れの防止を確実に行う。

消防法、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 制度)に該当しない。

労働安全衛生法

名称等を通知すべき有害物 (第 57 条の 2、令第 18 条の 2 別表 9)

酸化カルシウム、酸化チタン(IV)、カーボンブラック

消防法

非危険物 指定可燃物合成樹脂類 (指定数量：3000kg)

16. その他の情報

一般論としては廃棄物の処理及び清掃に関する法律、水質汚濁防止法、海洋汚染及び海上災害に関する法律、道路運送車両法、下水道法などが関する。

記載事項についての付記事項；

記載事項は、作成現在までに入手出来た資料、データなどを基に、判明している危険・有害情報として作成したものです、記載外事項の 安全・無害を保証するものではありません。